

Traditional crafts Marugame Uchiwa

MADE IN MARUGAME

丸龟团扇
MARUGAME UCHIWA

简体中文
SIMPLIFIED CHINESE



持ち歩き「涼」を楽しむ伝統的工芸品。

じっとしていても汗が体を伝うような暑さとなれば、涼をとりたくなるもの。多彩な形や雅やかな図柄が施され、心まで涼しくしてくれる「丸亀うちわ」。海と山に囲まれた風光明媚な丸亀地方に古くから伝わり、継承され続ける職人の繊細、かつ、鮮やかな手仕事で世に知れわたってきた。1本1本に趣のこなるそれを手に持つは粋な姿を映し出し、ゆるやかに煽ぐは優美な姿を映し出す。一本の竹から作り出される「丸亀うちわ」は、古き良き伝統を守りながら時代の移ろいととも、これからも進化し続ける。

纳凉用的手持式传统手工艺品

夏日炎炎，我们在出汗时需要阵阵凉风。造型各异、图案精美的“丸龟团扇”能让你身心清爽。在海山环抱、风景秀丽的丸龟地区，团扇工匠传承着前人精湛巧妙的团扇制作手艺。每把团扇都蕴含其独特的韵味，持扇者在轻轻扇动团扇时也能彰显雅致优美的风姿。用一根竹棍制成的“丸龟团扇”既保留了过去的优良传统，又随着时代的潮流不断演变。



江戸時代から続く歴史と文化。

慶長5年（1600年）、丸亀の旅僧が九州で一宿のお礼にうちわの製法を伝授したのが、熊本来民うちわの始まりと言われています。このため、「丸亀うちわ」の技術は江戸時代初期までに確立していたと考えられています。寛永10年（1633年）になると、金毘羅参りのお土産として天狗の羽団扇にちなむ朱色に㊦印入りの『洪うちわ（男竹丸柄うちわ）』作りを考案。その後、丸亀藩が藩士の内職にうちわ作りを奨励するなど、代表的なうちわ産地の基盤を築くことになりました。

从江戸时代延续至今的历史与文化

据说，九州熊本县的“来民团扇”起源于一位游历九州的丸龟僧侣，他曾在别人家借宿一晚，并教授了他们团扇的制作工艺来作为回报。据推测，这件事发生在公元1600年，因此丸龟团扇的制作工艺很可能在江户时代初期就已经成形。1633年，装饰有㊦符号的朱红色“圆柄竹扇”被定为金刀比罗宫香客的纪念品。此设计源于“天狗（一种日本传说中的神怪）”的羽扇。后来，丸龟藩敦促其家臣将制作团扇作为副业，这为日本主要的团扇制作中心奠定了基础。



受け継がれる伝統と卓越した職人技。

「伊予竹に土佐紙貼りてあわ（阿波）ぐれば讃岐うちわで至極（四国）涼しい」と歌い継がれる丸亀は、材料すべてを近隣で揃えられる恵まれた土地。また、全47もの製造工程のほとんどを頼る職人の手仕事は「丸亀うちわ」の要です。地紙ひとつとっても、破れにくくするため、素材の厚さにより糊の濃度を調節するなど、「丸亀うちわ」は最高の材料と卓越した職人技の集大成なのです。

传承下来的传统和精湛的工艺

日本有一首三十一一个音节的短歌，诗歌中说丸龟有丰富的团扇原材料，这些原材料可以从四国岛的其他县收集。短歌中说“赞岐县（香川县）的团扇是由伊予（爱媛县）的竹子和土佐（高知县）的纸制成的。当扇风时（AWAGURU = 扇风/ AWA = 德岛县），舒适的自然微风使四国岛变得凉爽。”此外，丸龟是“丸龟团扇”的重要产地，因为几乎47步团扇制作工艺都依赖于丸龟工匠的手工技艺。团扇工匠拥有高超的技能，例如根据纸张的薄厚严格调整胶水浓度。“丸龟团扇”是用最上乘的材料和精湛的工艺制作而成。



日本一の生産量と多様な形状。

うちわ作りの職人が多く在住していた丸亀では、全国から特色あるうちわ作りを任されるようになっていきました。そのため、柄と骨とが一本の竹から作られる、本来の「丸亀うちわ」と、各産地の要素が融合。こうして、多くの特長を得た丸亀うちわは、今では国内シェア9割に上る年間約1億本以上もの生産量と、形の多様さともに日本一を誇り、平成9年には国の伝統的工芸品に指定されました。

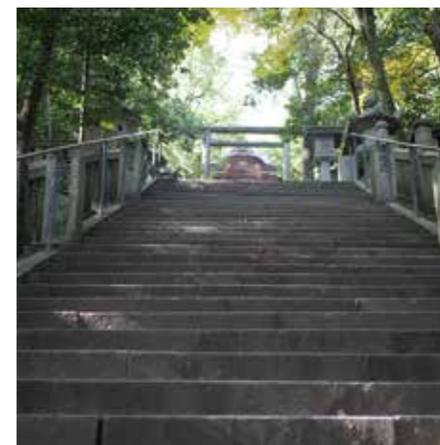
日本最大团扇生产地丸龟及其各式各样的团扇

丸龟有许多当地的团扇工匠。他们的产品家喻户晓，全国各地纷纷订购他们独特的团扇。在丸龟和其他地区的技术交流过程中，用一根竹棍制作手柄和扇骨的原版“丸龟团扇”与其他地区的团扇产生了融合。因此现在的丸龟团扇有了多种多样的特色。丸龟团扇的市场占有率占日本国内总产量的90%，年产量超过100,000,000一亿个。此外，它的花色也是全日本最好的。1997年，丸龟团扇被指定为日本传统手工艺品之一。



江戸時代中期以降、庶民の間で「一生に一度は、こんびらさんへ」と、こんびら参りが大流行。こんびら五街道のうち、最も栄えたのが丸亀街道でした。そこで、こんびら参りの土産物としてつくり始めたのが、丸亀うちわの起源となる赤い紙地に「丸金」印の渋うちわです。丸亀街道の始まりにある太助灯籠から金刀比羅宮の麓にある高灯籠を目印に、約 12km の道のりを経て、参道から続く「石段」や、5本の傘が特徴的な「五人百姓」、幸せのお裾分けとなる「加美代飴」などの見所を満喫。先人たちはうちわを扇ぎながら異日常から参拝旅路の帰路へとついたのかもしれない。

从江户时代中期开始，日本就流行起了“一生至少要去‘金刀比罗宫’参拜一次。丸龟古道（大道）是金比罗五条古道中最繁荣的一条路。在红纸底色上印有“丸龟”标记的涩团扇最初是为参拜金刀比罗宫的人们制作的纪念品，这就是丸龟团扇的由来。从丸龟起点的太助石灯出发，以金刀比罗宫脚下的高石灯为地标，行驶约 12 公里，可以欣赏到美丽的景色（包括从金刀比罗宫入口小径开始的“石阶”、以五把伞为特色的“五人百姓”），并体验分享“加美代飴”糖果的乐趣。先人在体验完非日常的参拜之旅后，会用团扇来给自己扇风。



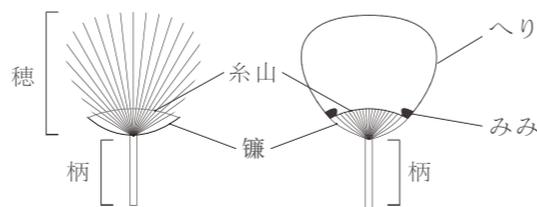
47 の工程に込められた 職人の「心」 磨き抜かれた「技」

丸亀うちわづくりには、大きく分けて「骨」と「貼り」の工程があります。一つ一つの工程に日本一の伝統を守る「丸亀うちわ」の職人芸が光ります。なんともいえない温もりは、気の遠くなるような手作業から生まれます。1本のうちわができるまで、実に47に上る工程があります。

工匠的自豪感和成熟的 47 步团扇制作技艺

制扇过程大致分为制作扇骨和贴合扇面。保留这一传统的工匠们在每一道工序中都展示着自己的技艺。精湛的工艺背后是无尽的手工作制作。制作一把扇子总共要经历 47 个步骤。下面展示的是其中几个步骤。

各部名称



001

【木取り】
【木取り】

「竹挽き」した管をうちわに適した一定の幅に鉋（なた）で割っていく。まっすぐ割れる竹の性質を利用した技。

用短柄小斧将竹棒劈成固定宽度的竹片。该工艺利用了竹纤维笔直断裂的天然特性。

002

【ふしはだけ】
【ふしはだけ】

一定の幅に割った竹の節を除き、穂になる方の内身を取る。その際、均一の厚みにしていく事が重要。

去掉竹节，刮削出竹棍内部的竹肉部分。使竹棍粗细均匀，这一点非常重要。

003

【割き】
【割き】

「切込機」で穂先より約 5cm ~ 10cm のところまで切り込みを入れる。穂の数は 32 ~ 42 本で、同じ間隔で裂いていく。

用专门的切竹机将上边缘切成 5~10 厘米的小竹条。切成 32~42 个同一宽度的小竹条。

004

【もみ】
【もみ】

上部に切込みを入れた竹を左右にひねり曲げて、竹の繊維に沿わせながら、ふしまでもみおろす。

沿着竹子的纤维不断地左右向其竹节方向扭曲竹棍。



005

「鉋孔
穴あけ」

穴あけ用のキリを使って、鎌を通す穴をふしの部分にあける。これは三つ目鎌が用いられる。

用三角钻在竹棍的竹节上为扇门打一个孔。



006

「鎌型
柄削り」

切り出し小刀にて柄削りし、いろいろな加工を施す。この作業により、手に持った時の心地よさが生まれる。

用一把小裁切刀调整扇柄的形状。这一步提高了抓握的舒适度。



007

「鎌削
鎌削り」

切り出し小刀にて加工します。丸亀うちわの美しい曲線を表現する大切な部分。うちわの種類によって太さ、長さが異なる。

用一把小裁切刀给扇柄的扇门塑形。扇门是重要的组成部分，它勾勒出了团扇优美的曲线。扇门的粗细和长度因团扇类型而异。



008

「編織
編み」

鎌を通し、その一端に糸を縛り付けて穂を編む。主に白い綿の糸だが、絹糸や色付きを使用することもある。

插入扇门后，用一根细绳在一端系好，编织扇骨。通常使用白棉线，但有时也使用丝线或彩线。



009

「鎌形
付け」

鎌・糸山が美しい曲線となるように穂を揃えながら、左右対称にして、糸をとじつける。

调整扇骨的长度，用细绳将扇门弯曲成优美的弧度，并用细绳将扇骨编织成对称的形状。



010

「膠着
貼り」

うちわの種類などによって「のり」の濃度を調整し、穂や地紙の必要な所に「のり」をつけ、地紙を貼りつける。

适当调整胶水的液体浓度后，将其涂抹在扇骨上。还要在团扇纸上涂上胶水，并将其粘贴到扇骨上。



011

「打
たたき」

うちわの種類に応じた形の「たたき鎌」を当て、木づちでたたき、余分な部分を切り取り、うちわの形に仕上げる。

用木锤和专门的团扇镰刀敲击团扇外沿，以裁掉多余的部分。



012

「纏
へり取り」

うちわの周囲に「へり紙」と呼ばれる細長い紙を貼る。その後、「みみ」や「ぎぼし」を貼り完成。

沿着团扇的边缘粘贴一张薄纸包边，然后贴上其他小纸片，制作就完成了。

手から手へと受け継がれた「丸亀うちわ」の伝統を守り継ぎ、その“心”を永く後世に伝える伝統工芸士。

長戸 幸夫



後継者を育てる。技術と心を伝える。

丸亀うちわの未来を考え、新しいことに挑戦しながらも、伝統の技術を伝え、後継者育成に力を入れています。

培养继承人, 并传承制扇技艺和手工艺

—長戸 幸夫—

荒川 和子



春夏秋冬、四季を感じるうちわづくり。

夏のイメージの強いうちわですが、四季を表現することで、一年中、人を楽しませるうちわづくりをしていきたい。

制作蕴含日本四季之韵的团扇

—荒川 和子—

三谷 順子



昔も今も変わらず、作ることが楽しい。

丸亀うちわの可能性を広げ、様々なことに挑戦することで、若い方にも伝統を知ってもらい、そして使ってもらいたい。

去享受团扇制作的乐趣吧, 这种感觉永远不会改变

—三谷 順子—

浅野 貴徳



うちわの魅力を最大限に引き出す「竹」。

「竹」の性質はうちわ本来の機能を最大限に引き出してくれます。道具としてのうちわの魅力を伝えていきたい。

“竹子”最能体现团扇的魅力

—浅野 贵徳—

中田 元司



竹うちわは恋人であり、良き生活のパートナー。

手作りの竹うちわが今の時代、仕事として通用するか挑戦を続けたい。次代を超えた価値や魅力を見出し、生み出していきます。

竹扇是我的爱人, 也是人生的好伴侣

—中田 元司—

“丸亀团扇”的传统工匠秉承着前人传下来的传统, 并将“手工艺”代代相传

川田 久子



世界に受け入れられるものづくりを考えたい。

伝統的な型のうちわを元に斬新なアイデアに挑戦をしながら、400年以上の歴史ある「丸亀うちわ」を次世代に継承していけるよう活動したい。

想要制作出能在国际上所有市场都受欢迎的团扇

—川田 久子—

大林 正春



竹うちわの長所を生かしたうちわ作りを。

丸亀うちわを絶やさな様に産地、振興に協力し、ユーザーのニーズに沿ったうちわ作りに努める。

善用竹子的优势来制作团扇

—大林 正春—

長谷川 秋義



うちわ作りは格別な物。

一本の竹から作るうちわの骨はそれだけで美しく、好きな和紙を貼り作るうちわは格別な物です。

团扇制作是一件非常了不起的事情。

—長谷川 秋义—

兵頭 恵子



伝統と革新。

昔からの伝統の良さを伝えつつ、現代らしさをプラスしたうちわを作っていけたらと思っています。

传统与创新

—兵头 恵子—

西条 久



丸亀うちわを伝えたい

大うちわや組うちわ等の知られていないうちわを作って、丸亀にはいろんなうちわがあることを知ってほしい。

我想跟大家聊聊丸龟团扇。

—西条 久—



世界の持続可能な観光地 TOP100 に選出。

国の伝統的工艺品である「丸亀うちわ」の伝統を継承する取り組みや環境に配慮した取り組みが、「世界の持続可能な観光地 TOP100」に初めて選出されました。これは、世界中の持続可能な観光地を毎年審査する国際認証機関 Green Destinations によるもので、2023 年のカテゴリーである Culture&Tradition（文化と伝統）において認められたものです。丸亀うちわの「伝承人育成」や、「オリーブうちわ」「しおりうちわ」といった竹の端材を活用したサステナブルな商品造成などで観光を切り口に交流人口の増加、地域経済の振興に大いに寄与していると高く評価されました。

入选全球 100 个最佳的可持续旅游目的地。

对日本传统手工艺品“丸龟团扇”的大力保护以及在环保方面提出的倡议让我们首次入选“全球 100 个最佳的可持续旅游目的地”。这是由每年对全球可持续旅游目的地进行评估的国际认证机构 Green Destinations 颁发的,我们在 2023 年“文化与传统”类别中获得了这一荣誉。我们通过旅游业增加游客数量,以及通过“培养传统继承人”和用竹片制作“橄榄扇”和“书签扇”等符合可持续发展理念的产品来鼓励当地经济发展,这些贡献让我们受到了高度赞扬。

丸亀市产业観光科

香川县丸亀市大手町 2 丁目 4 番 21 号, 邮递区号: 763-8501

T E L : 0877-24-8844

F A X : 0877-25-2409

丸亀团扇博物馆

香川县扇子合作社联合会

展览、展示、互动会议和销售

香川县丸亀市中津町 25-1, 邮递区号: 763-0054

T E L : 0877-24-7055

F A X : 0877-43-6966

E-mail: polca@leaf.ocn.ne.jp



Website



Instagram